

令和5年度の研究の方向性

●R5 全体研究会について

5月：全体研①（R5校内研究について）

8月：全体研②（中間報告）

2月：全体研③（研究のまとめ）

●研究組織

全体研究

● Iコース低学年グループ

● Iコース中学年グループ

● Iコース高学年グループ

● IIコース

● Iコース手工芸班グループ

● Iコースリサイクル班グループ

● Iコース農園班グループ

● IIコース

● I、IIコース1年グループ

● Iコース2年グループ

● Iコース3年グループ

●全学部IIコースグループ

●R5 小学部研究（案）

★学部研究

★グループ研究

- ・ Iコース（低学年、中学年、高学年）
- ・ IIコース

★対象授業： I 音楽
II 音楽／自立活動

●R5 中学部研究（案）

★学部研究

★グループ研究

- ・ Iコース 各作業班
- ・ IIコース

- ★対象授業： I 作業学習
II 作業学習／自立活動

●R5 高等部研究（案）

★学部研究

★グループ研究

- ・ Iコース：各学年

- ※ I年は、IIコースを含む

★対象授業： I 総合的な探究の時間
II 国語・数学／自立活動

●R5 全学部Ⅱコース合同研究について

- 各学部の研究会にも参加する
- Ⅱコース：教科／自立活動の目標設定と指導内容について、考察する
- 対象授業①

小学部	音楽／自立活動
中学部	作業学習／自立活動
高等部	国語・数学／自立活動
- ② 国語・数学／自立活動についても情報交換する

●学習指導要領の着実な実施を目指して

- 教科等で育成する資質・能力の明確化
- 教科等を合わせた指導について、関連する教科等を明確にする
- 自立活動を主体とした教育課程における教科等の内容について、小・中・高のつながりを意識した授業計画と授業実践
- 年間授業計画と個別の指導計画のつながり、単元や題材のまとまりを見通した授業計画と授業実践
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善と授業実践

●現行学習指導要領の着実な実施を目指して

○観点別学習状況の評価、指導と評価の一体化

- ・単元設定と授業構成の工夫

- ・目標の達成状況を確認するための評価規準の設定

*特別支援教育では、より具体的な目標を立てる場合が多く、
目標と評価規準とが語尾の違いのみになることもある

主体性・多様性・協働性
学びに向かう力
人間性 など

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

どのように学ぶか
(アクティブ・ラーニングの視点から
の不断の授業改善)

学習評価の充実
カリキュラム・マネジメントの充実

R4 校内研究
(基礎研究を含む)

何を知っているか
何ができるか

個別の知識・技能

知っていること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

●R5 校内研究（案）

令和4、5年度 校内研究

『社会の中で自分らしく豊かに
生きていく力を育てる授業実践』

～指導と評価の一体化及び授業の充実～

▶児童生徒の学びの充実へ～

- ・適切な観点別学習状況の評価の実現を目指す
- ・教科指導に関する教員の専門性の向上を図る